

情報産業労働組合連合会
中央執行委員長 野田 三七生 様

2015年 1月 5日
NPO法人 心のつばめ会
会長 北田 静雄

情報労連愛の基金担当の方々に、私たちの活動をご理解頂き有難うございます。

また、愛の基金については、労働組合の組合員の方々が汗をかき、働いた浄財であり、心より深く感謝申し上げます。

NPO法人 心のつばめ会は、精神疾患患者・家族・支援職、それぞれの立場の当事者団体で、講座会・講演会・グループミーティングなど開催しております。

私がこの仕事をしてみて感じることは、当事者はもちろん、家族の精神的苦勞や労力、経済的問題など大変な苦勞があることがわかってきました。

数は少ないですが、息子の母への暴力では、医師に「骨が折れなくて良かった」と言われるようなケースや、一方では薬を処方されながらも、会社に入社して管理職になった方もいらっしゃいます。

精神疾患は、薬だけ飲めば治るというものではなく、同病者・健康な方々とのコミュニケーションも必要な場合があるようです。

また、双極性障害（躁うつ病）の方の、車の運転についての悩みや、肝性脳症（肝硬変による意識障害）で自分の生年月日を忘れてしまうような症状のある方が、数時間点滴をすると回復できるという複雑なケースもあります。

このようにさまざまな病状をかかえた方々がいらっしゃいますが、最近、地震・津波・大雨・大雪などの災害が多くなっています。

その時、精神障害者はどのような行動をとるべきなのか？考えておく必要があるのではないかとということで、精神障害者の親の会の方々と一緒に、声をかけていただいていた宮城県石巻を視察することになりました。

私は、体調が悪くなり同行することができませんでしたが、直接現地でいろいろなお話を聞くことができ、大変参考になりました。

今後もいただいた基金を大切に使用させていただきます。

本当にありがとうございました。